

平成19年度採択案件の例

「鴨ネギ」でまちおこし～新しい越谷の街ブランド創出物語～

【越谷市商工会（埼玉県）】

越谷市は、宮内庁鴨場のある街である。この特性と千寿ネギ種の代表的な産地として名高い「越谷ネギ」をはじめとする地場野菜を組み合わせで開発された『こしがや鴨ネギ鍋』を継続発展させ、「新しい越谷の街ブランドの創出」を目指す。「鴨ネギ」でまちおこしをキーワードに、新たな産業の創出や「鴨ネギ」が食せる店舗展開など新たなビジネスモデルの確立を実施する。



宮内庁埼玉鴨場



皇室献上こしがやネギ



こしがや鴨ネギ鍋イベント

九州の空と陸の玄関口から全国へ“瀬高たかな漬”売り込みプロジェクト

【瀬高町商工会（福岡県）】

福岡県は日本3大漬け菜の一つである高菜の全国一の生産地であり、みやま市瀬高町はその65%を占める南筑後地方の主産地である。“瀬高たかな漬”の品種「三池高菜」は、明治期に中国の四川青菜（シセンセイサイ）と在来種の紫高菜を交配・改良させて誕生した品種とされており、紫色に帯びた大きな葉と厚い葉脈が特徴で、他産地の高菜とは誕生の歴史・品質ともに異なる地域特有の品種である。

こうしたストーリー性と三池高菜の希少性を活かして、新たな高菜メニューの開発を行うとともに、PRイベント等の開催により新たなマーケットの開拓を図る。さらに地域団体商標の取得も目指し、効果的なブランド構築に取り組む。



三池高菜



高菜漬

北海道遺産「ばん馬（北海道の馬文化）」を活用した地域資源の開発

【帯広商工会議所（北海道）】

世界唯一である北海道遺産「ばん馬（北海道の馬文化）」を有効活用し、新たな地域資源を活用した“「ばん馬」ブランド”を全国展開する。「ばん馬」と地域の特産品を融合させた新商品、使用済み蹄鉄を再利用したリサイクル商品を開発し、地域の小規模事業者の活性化及びばん馬の全国への認知度向上を図る。また将来的な十勝の観光の核となる事を目指し、ばん馬観光ルートの開発や大規模集客イベントの実施を行なう事により新たな観光客誘致に繋がり、地域経済の活性化を目指す。



ばんえい競馬



ばん馬



ばん馬 PR 用菓子

TOKONAME「フローライフ」プロジェクト

【常滑商工会議所（愛知県）】

常滑市は日本六古窯の1つ「常滑焼」の産地であり、平安末期より壺、甕、鉢などの大物を作ってきた。常滑焼の伝統的技術である「よりこ造り（粘土を棒状にして大物の甕などを作成する技法）」の技法を活用し、常滑焼浴槽や浴室周り品の新商品開発を行う。“お風呂で過ごす癒しの時間”「フローライフ」を提案し、新たなビジネスモデルの1つとして、伝統的常滑焼産業界の振興を確立することにつなげていく。



よりこ造り



業務用大型浴槽